

令和4年度探究的な学習の在り方に関する研究推進地域連絡協議会

主体的に学びを深める児童・生徒の育成

～探究的な学習の単元開発・実践・改善を通して～

【令和4年度の取組を振り返って】

研究推進担当
中川 雄喜

はじめに

“本物”の探究を目指した主な取組

- ・ 単元構想の見直し
- ・ 地域の“材”の効果的な活用



報告内容

- ①研究の概要について
- ②実践事例について
- ③成果と課題について



1. 研究の概要について



海田西中学校



海田小学校



海田西小学校

西中学校区の課題及び研究テーマ

- ・探究課題が自分事となっておらず，主体的な学びとなっていない。
- ・自分の考えを積極的に伝えられていない。
- ・振り返りが自己の変容を省察したり，新たな課題に気付いたりするものになっていない。

主体的に学びを深める児童・生徒の育成
～探究的な学習の単元開発・実践・改善を通して～

中学校区で育成を目指す資質・能力

主体性

学びに向かう力，人間性等

コミュニケーション力

思考力・判断力・表現力等

メタ認知

知識及び技能

3つの資質・能力

互いに影響を与え，深め合うことで，一つ一つがより大きな円へと成長し，育成される



【図1 本中学校区の資質・能力】



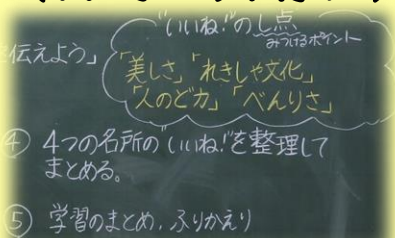
【課題設定の工夫】

- ・ 実生活や実社会と関わる必然性のある課題設定
- ・ N I E の活用
- ・ 題材との出会いの工夫（問題の意識化）
- ・ 実現（解決）の見通し（問題の課題化）



【協働の場づくり】

- ・ 活動の視点の明確化（目的の共有化）



- ・ 思考ツールの活用（情報の共有化）
- ・ I C T の活用（情報の共有化）



主体性

学びに向かう力，人間性等

コミュニケーション力

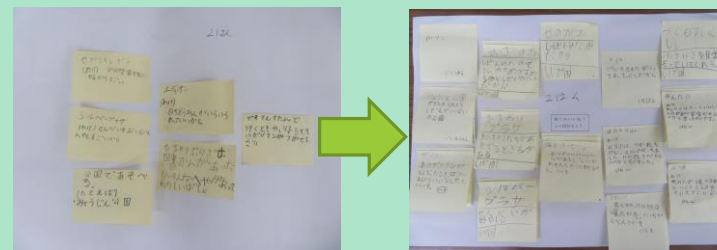
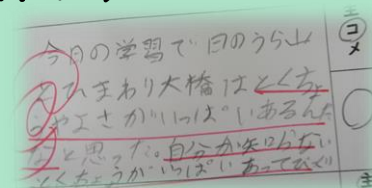
思考力・判断力・表現力等

メタ認知

知識及び技能

【振り返りの工夫】

- ・ 自己評価シートの記入（学びの言語化）
- ・ 単元ルーブリック作成
- ・ 単元を貫く問いの活用



- ・ 作成物や自己評価等の比較
- ・ これからの学習への転用を表現する場（新たな課題）

2. 実践事例について



学年	第3学年	総時間数	44時間
単元名	西のチカラプロジェクト たんけん！発見！海田町の“いいね”を伝えよう		
本質的な問い	海田町の魅力って何だろう？ ～私たちは、どのように地域とかかわるとよいのだろう～		
探究課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が住む地域のよさについて、「人，もの，こと」に着目しながら視点をもって調べることを通して，地域を知り，地域への関心をもつ。 ・海田町のよさを伝える方々と関わりながら地域を散策し，自分たちが見つけた“いいね”をポスターに表したり，デジタルサイネージで流したりして伝えるという活動を通して，地域の公共施設や歴史，自然など，それぞれのよさに気付くとともに，地域に親しみや誇りをもち，自分自身と地域との繋がりについて考えを深めていく。 		
単元目標	<p><u>探究のサイクル1「校区の“いいね”を発見しよう」</u> 自分の住む校区の魅力を調べる活動を通して，校区のよさを知り，海田町への関心を高める。</p> <p><u>探究のサイクル2「海田町の“いいね”を発見しよう」</u> 海田町の魅力(人，もの，こと)について調べる活動を通して，地域への愛着をもつ。</p> <p><u>探究のサイクル3「海田町の“いいね”を伝えよう」</u> 地域のよさや自分たちの思いを伝える活動を通して，自分から地域のよさを発信するとともに，地域に親しみや誇りをもち，自分自身と地域との繋がりについて考えを深める。</p>		

本質的な問いに繋がる4つの願い

願い

- ①ふるさとである海田町の良さを知ってほしい。
- ②海田町に親しみや誇りをもってほしい。
- ③海田町の良さを語れる人になってほしい。
- ④ふるさとのために考えたり行動したりできる人になってほしい。



本質的な問い

海田町の魅力って何だろう？

～私たちは、どのように地域とかかわるとよいのだろうか～

第3学年 単元名 西のチカラプロジェクト たんけん！発見！海田町の“いいね！”を伝えよう

身に付けたい資質・能力

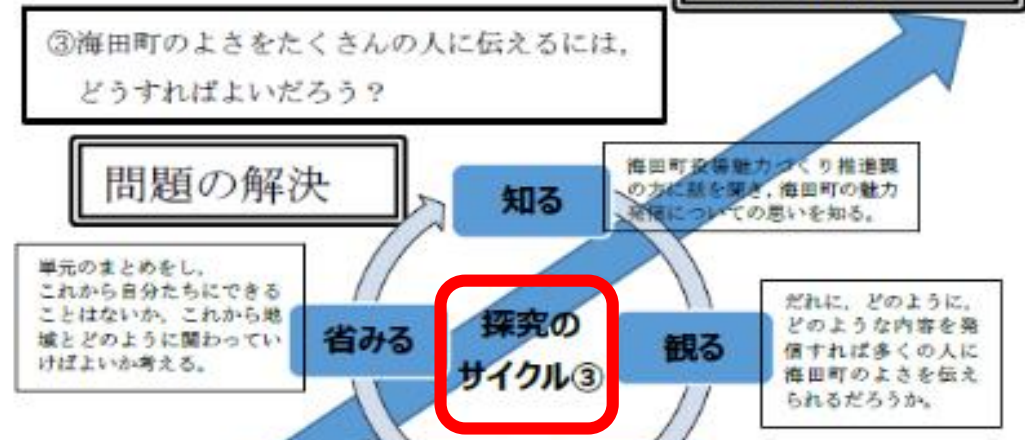
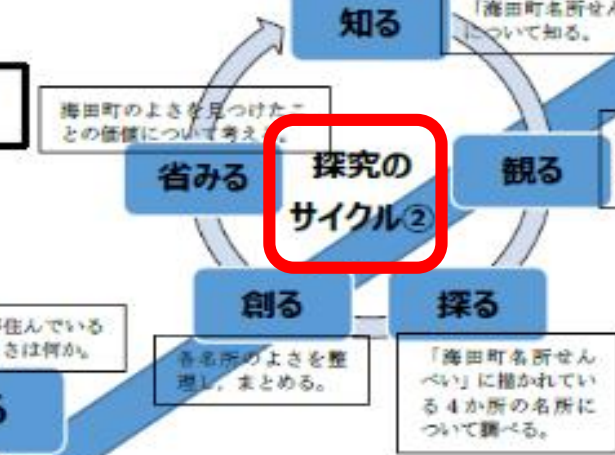
主体性	海田町の“いいね！”を見付けたり、伝えたりすることに興味や関心をもち、探究的に課題を見付けたり、解決に向けて取り組んだりする。
コミュニケーション力	相手の考えを受け入れながら聞き、集めた情報を比較、分類、関係付けながら整理したり、考えを伝えたりする。
メタ認知	地域に対する自己の学びの深まりは、海田町の魅力について探究的に学んだ成果であることに気付いている。

指導方法	・プロジェクト型学習 ・NIE
------	--------------------

①私たちが住んでいる校区のよさは何だろう？



②私たちが住んでいる海田町のよさは何だろう？



指導体制	○シルバー人材センター、海田市ガイドの会、海田町役場魅力づくり推進課等との連携 ○T・Tによる指導
------	--

学習活動	海田町のよさを伝える方々と関わりながら地域の“いいね！”を見付け、見付けた“いいね！”を多くの人に伝える活動を通して、地域のよさに気付くとともに、地域に親しみや誇りをもち、これからの自分自身と地域の繋がりについて考えることができるようにする。
学習評価	○児童用ルーブリック ○行動観察 ○ポートフォリオ

問題：地域社会への関心や馴染みが薄い。

新たな問いへ

探究のサイクル3（学びの発信）



ポイント

- ・ 児童の思いから連続性のある探究のサイクル3へ
【学びの連続性】

これからどのような活動を行いますか。



たくさんの人に知ってもらえるように発信していきたいな。



役場や織田幹雄スクエアに貼ってもらったら、たくさんの人が見てくれないかな。



貼ってもよいか聞いてみないといけないね。でも誰に聞いたらいいのかな。

そう言えば、1学期のフォトコンテストでお世話になった魅力づくり推進課の方のお話の記事が出ていましたよ。



魅力づくり推進課の方も、僕たちと同じで「海田の魅力を発信したい」と話してる！魅力推進課の方に相談してみよう。



西国街道
小学生が
ガイドへ

海田町が養成講座開始 認定後 大人の手伝いも



中国新聞 2022年7月28日付

児童の思いや考えを予測し、状況に応じて「材」を提供するなど授業をファシリテートすることで、学びの熱量を高めることに繋げる。

探究のサイクル3（学びの発信）



ポイント

- 外部人材との綿密な打ち合わせ 【事前連携】

魅力づくり推進課では、海田町の魅力が詰まったマップを作成しています。



デジタルサイネージを活用して、情報を発信しています。役場で手続きの順番待ちをしているときなど、訪れた人がみてくれていますよ。

持ち運べるし、写真がたくさん使われていて、一目で“いいね”が分かるね。

デジタルサイネージっていうんだ。ひまわりプラザにもあって、ぼくもみたことがあるよ。

みなさんの考えているポスターや新聞に、マップやデジタルサイネージでの発信も加えて、もう一度発信方法を考えてみてください。一緒に協力して海田町の“いいね”を発信しましょう。

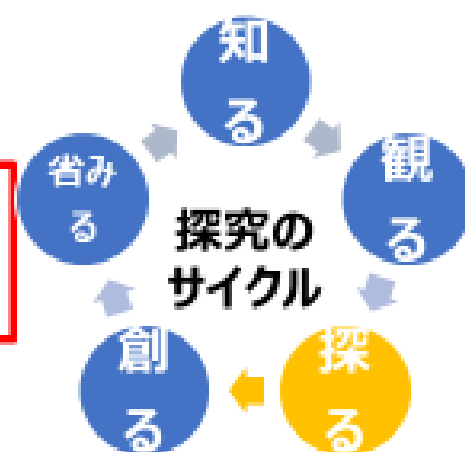
双方の思いを伝え合いながら、学習内容について連携を図っておくことで、学びの質を高めるための外部人材の活用に繋げる。

探究のサイクル3（学びの発信）

ポイント

- ・ 目的に合った効果的な発信方法进行分析【発信方法の分析】

それぞれの発信方法进行分析してみよう。



発信の時には、どれも大人の人の方が必要なのは同じだね。



じゃあ、それぞれのメリットとデメリットを出していけば、よい発信方法を選べるかな。

デメリットの改善策も考えて、決めていこう。

デジタルサイネージは、3か所しかないけど、私も見たことがあるように、訪れた人は見るんじゃないかな。

マップは、いいなと思ったけど、役場の方が素敵なものを作っていたから、同じマップを作らなくてもいいんじゃないかな。

ポスターと新聞はどちらも掲示するものだね。キャッチコピーを生かしたポスターは、子どもも見やすくいいと思うな。

	デメリット (D)	メリット (M)	その他
デジタルサイネージ	・ 設置場所が限られている ・ 画面サイズが小さい ・ 電源が必要	・ 24時間表示可能 ・ 視覚的に訴求力が高い ・ 更新が容易	・ 駅構内、公共施設 ・ 観光案内、イベント告知
デジタルサイネージ	・ 設置場所が限られている ・ 画面サイズが小さい ・ 電源が必要	・ 24時間表示可能 ・ 視覚的に訴求力が高い ・ 更新が容易	・ 駅構内、公共施設 ・ 観光案内、イベント告知
デジタルサイネージ	・ 設置場所が限られている ・ 画面サイズが小さい ・ 電源が必要	・ 24時間表示可能 ・ 視覚的に訴求力が高い ・ 更新が容易	・ 駅構内、公共施設 ・ 観光案内、イベント告知

板書：メリット・デメリット表を活用した整理・分析

発信方法も、児童の考えを引き出しながら根拠をもって決定していくことで、次時からの制作も、自分事として活動できるように繋げる。

探究のサイクル3（学びの発信）

ポイント

- “本物”からのアドバイス（協働的作業の充実）



アドバイスを聞く様子



デジタルサイネージ用スライドを全員で修正している様子



成果物：児童が作成したポスターとデジタルサイネージスライドの一例

“いいね！”ポイント②

第2位

織田幹雄スクエア

知って広がる
織田さんのきろくを学べるノート！！

ノートには、れん習の
ときのデータがたくさん
記録されています。
織田幹雄さんのどりよ
くが学べます。



“いいね！”ポイント①

ひまわり大橋

広くて安心！

こんなに広い！！

車が通らず、横幅が
広いので赤ちゃんを
連れている人やお年
寄りなど、どんな人
でも安心・安全に通
れます。



本物からのアドバイスで、発信への熱量を高めるとともに相手意識も高める。

海田西小学校 3 年生が見つけた

海田町の“いいね”！



作成：海田西小学校 3 年生

3. 成果と課題について

- ① 発信手段の見直しによる効果
- ② 資質・能力に関する成果と課題

発信手段の見直しによる効果

○発信が大人も巻き込んだ地域へと拡大し，さらに“本物”と協力して発信することで，発信に対する一人一人の熱量とともに主体性が高まった。

○“本物”と繋がった発信を行うことで，協同することが必然となり，コミュニケーション力の向上に繋がった。

資質・能力の育成に関する成果と課題

1 学期主体性，コミュニケーションに関する振り返り

相手にわかりやすく言えた。



2 学期主体性，コミュニケーションに関する振り返り

友だちときょうかして取りあひあひすることができ、ほかの人のいけんとつなげて考えることができた。

自分のだいたいけんを人には、きりとよりわかりやすく、つたえることができた。

資質・能力の育成に関する成果と課題

学習前の自分と今の自分では、くらべかちかいました。学習前の自分は、次のかたを思いつき、学習がめまりできなかったけれど、今の自分では、海田町の「いいね!!」を見つけ、ほろの町、市の「いいね!!」をみつけたいです。

上田正仁
自分は、友だちのいけんを聞いて、いろいろたこ（か
分かってい）たので、友だちのいけんをほかの学習に
いかしてあげたいです。

資質・能力の育成に関する成果と課題

表1: 授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしていますか。

	肯定的回答率	否定的回答率
1学期末	70%	30%
2学期末	90%	10%

表2: 振り返りでは、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」など考えています。

	肯定的回答率	否定的回答率
1学期末	83%	17%
2学期末	87.1%	12.9%

次年度に向けて

西中校区で育成を目指す資質・能力を改めて整理し、学年間の連続性、発展性や中学校との接続に留意しつつ、他教科等で育成を目指す資質・能力との関連を明らかにし、主体的に学びを深めながら、自己の生き方を考えていく力を伸ばしていく。



ご清聴ありがとうございました

